

13045 児童教育特講 f Special Lecture in Elementary Student Education		3年次～ 後期 2単位	
担当者	鎌形 由貴乃	履修可能学科	E Pe Pc C W F
		関連資格	
サブタイトル	『リトミック』というドアを開けてみよう ～ようこそ、子ども達の表現の世界へ～		
授業内容 ねらい	子ども達にとって表現をするということは、きわめて自然であり心地良いことである。私達おとなは、いつの頃からその心地良さにベールをかけてしまったのだらう。この授業では、『リトミック』という方法を通して自ら表現を体験したうえで、子ども達の表現の世界を探っていく。受講者自身が表現することに対して素直に心を開くことができるようになることを大切にしたい。 『リトミック』はスイスの作曲家エミール・ジャック=ダルクローズが考案した音楽教育・表現教育のメソッドである。ダルクローズは、『リトミック』による活動のポイントを「内的聴覚を働かせることにより、音・音楽の動きと身体の動きとを対応させ、それらの関係を意識していくこと」とした。授業では「自分の身体を楽器化する」という体験を丁寧に積み重ねていく中で、「音・音楽」や「自分自身の内面」と深く向き合い、平面的ではなくエネルギーの内蔵する音楽表現活動や身体表現活動の心地良さ意義深さを感じることができるだろう。生き生きとした動きや演奏は、必ず子ども達の心の琴線に触れるに違いない。		
授業計画	授業は大まかに次のような内容を総合的に展開していく。 ①オリエンテーション ②歌って、歌って！ 動いて、動いて！ ③歌って、歌って！ 動いて、動いて！ ④音を探しにいこう ⑤子どもの表現について考えるーその1・VTR鑑賞 ⑥子どもの表現について考えるーその2 ⑦子どもの表現から私達（おとな）の表現を発展させよう	⑧人間彫刻ーその1 ⑨人間彫刻ーその2 ⑩“自分の身体”と“相手の身体” ⑪身体が楽器になるープラスチックアニメへの誘い ⑫表現することにおいて私達（おとな）が子ども達と共有すべきことは何だろうーVTR鑑賞 ⑬音符に隠された空間を感じよう ⑭授業のまとめーその1 ⑮授業のまとめーその2	
教科書 参考書	参) 必要に応じて授業中に紹介する。		
評価方法	出席の状況、レポートの提出、授業内容の理解度を確認するための実技試験。		
事前準備学習 履修条件等	必ず動きやすい服装（パンツスタイル）で受講のこと。		